

連携先	Slack / Salesforce / Googleカレンダー	利用シーン	業務自動化	業種	サービス業
-----	----------------------------------	-------	-------	----	-------

Slackとバックエンドシステムを連携し 業務プロセスを自動化

社内業務の省力化・残業時間の削減をノン・コーディングでスピーディーに実現

人材サービス業A社

導入背景

複数の転職サイトを運営する人材サービス業A社は、右肩上がりに業績を伸ばし社員数が1,000名を超えるまでにまで増え、社内システムの増加に伴い社内のデータ連携ニーズも増大が予想された。これまではデータ連携をスクラッチ開発するのが主流だったが、メンテナンス性の低さが課題となるため、全社横断で業務改善を推進するBPR部ではデータ連携を行う社内標準ツールとしてASTERIA Warpを採用した。これによりデータ連携開発のしきいが一挙に下がり、これまで自動化が困難とされていた各種業務の自動化が可能となった。同部では、各部署から依頼された多くの業務改善要望に対してSlackとバックエンドシステムをASTERIA Warpで連携することで課題解決することとした。

課題

- **予防接種受診の効率化**
インフルエンザ予防接種が可能な時間を社員のセグメントに分けて案内するも時間帯によっては長蛇の列となり業務阻害要因に。また、低い接種率も課題に。
- **少額精算への対応**
クラウドツールの購入やECサイトでの物品購入が増加し、Web決済による少額の個人立替え精算が増加。コーポレートカードで決済する方法もあるがこの場合は利用手続きが煩雑。
- **紙ベースの請求・領収書管理**
拠点の増加に伴い請求書や領収書が急増、拠点からの本社経理部門への郵送と管理コストが増大。

導入

- **個人別予防接種時間の設定と自動案内**
社員個々の受診時間を自動生成し、Slack上に個別案内。またSlack上に「変更」ボタンを表示し、Slack上から時間変更を可能に。当日受診しなかった社員には再受診時間を自動案内。
- **今回の購買用カード番号を自動通知**
コーポレートカードの利用を申請すると申請金額に近い上限額のバーチャルカード（ネット決済限定で使える16桁のカード番号）をSlack上のプライベートチャンネルに自動通知。
- **支払い請求書・領収書受け渡しの自動化**
購買管理（Rakumo）上で支払い申請が承認されるとSlackプライベートチャンネル上に同請求書を表示。これを経理が確認し完了するとSlack上に経理確認済みと表示。

効果

- **大幅な業務時間の削減**
これらのASTERIA Warp業務自動化により、多くのバックオフィス業務を削減。各部署の業務改善の取り組みも進み、2時間以上の残業はほぼゼロに。またインフルエンザ予防接種率も大幅に向上。
- **業務自動化の迅速化と範囲拡大**
スクラッチ開発に比べASTERIA Warpは開発環境の整備に時間がかからず要望に対し迅速な対応が可能に。また業務自動化の対象範囲が大幅に拡大。
- **メンテナンス性の向上**
ASTERIA Warpで開発することにより属人性を排除でき、実際に処理を開発したスタッフ以外にもメンテナンス可能に。

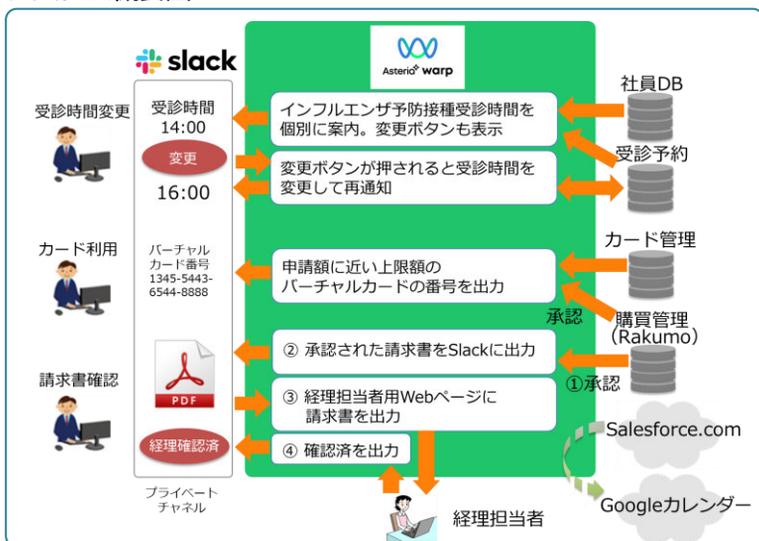
ASTERIA Warp選定理由

- データ連携分野で12年連続シェアNo.1
- 豊富な基幹連携の利用実績
- 同業のインターネットサービス大手の採用事例

今後の予定

- **SalesforceとGoogleカレンダーの連携**
Salesforce上に商談登録すると同行者全員のスケジュールをGoogleカレンダー上に自動登録。
- **社内イベント、社内研修のカレンダー予約**
社内イベントを登録すると自動的に参加予定者のGoogleカレンダーを自動予約。また社員のスケジュール空き状況を参照し、社内研修受講スケジュールをASTERIA Warpがアサイン。
- **スクラッチ開発されたデータ連携のリプレース**
すでにスクラッチ開発されたデータ連携処理をASTERIA Warpにリプレース（すでに数件はリプレース済み）。

システム概要図



お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!

営業職からBPR部に異動した私にはプログラム開発経験やRDBに関する知識などが全くありませんでしたが、フローデザイナーのGUIのおかげで、様々な業務部門からの業務改善依頼を短時間に次々と課題解決することができました。「インフルエンザ予防接種の待ち行列に並ばなくて済むようになり助かってます！」などの感謝メッセージももらい、今の仕事にやりがいを感じています。ASTERIA Warpを使っているうちに、徐々にSQLやプログラミング言語も理解できるようになり、今ではスクラッチ開発されたプログラムのソースコードを解析しながらASTERIA Warpにリプレースするような作業も自力で行えるようになりました。ITをこれから勉強される方にはASTERIA Warpでまず開発してみることをぜひおすすめします！